

新潟社会人バドミントンリーグ戦大会規則

- 第 1 項 チーム構成は男女を問わず、7人以上15人迄とする。(高校生以下は認めない。但し、定時制・通信制高校は除く)
- 第 2 項 1部から6部迄の試合は2複1単で試合順序は複、単、複とし、7部以下は3複とし、選手の重複は認めない。なお試合は3試合まで行う。勝敗決定後のメンバー変更は認める。そしてその試合は公式戦とする。
- 第 3 項 ゲームは全てラリーポイントで行い、21点先取ゲームとする。ただし20点オールになった場合は、2点先取で30点まで行う。インターバルは11点目(60秒)及びゲーム間(120秒)とする。
- 第 4 項 順位決定は次の順番で行う。①勝敗 ②勝敗が同数の場合はマッチ率 ③マッチ率が同率の場合はゲーム率④ゲーム率の同数が2チームの場合は対戦勝者を上位とし、3チーム以上の場合はいくじ引きで決定する。

$$\text{※マッチ率} = \frac{\text{勝ったマッチ数}}{\text{総マッチ数}}$$

$$\text{※ゲーム率} = \frac{\text{勝ったゲーム数}}{\text{総ゲーム数}}$$
- 第 5 項 入替戦は上部リーグの7位と下部リーグの2位との間で行い、それぞれの勝者を上位に置く。上部リーグ8位と下部リーグ1位は入替戦を行わず自動的に入れ替わる。試合形式は2試合先取とし、上部リーグの形式で行う。なお本リーグ戦での上位チームを入替戦後も上位に置く。
- 第 6 項 シャトルはチーム双方の持ち寄りとし、水鳥の1種検定合格球(ヨネックスニューオフィシャル相当)を使用する
- 第 7 項 年度終了後の各部リーグ間への移籍は認める。
- 第 8 項 各試合会場に競技役員を設ける。審判は対戦チーム双方の責任の下で行うが、問題が発生した場合は全て競技役員が決定する。
- 第 9 項 第1試合のオーダー提出は試合開始の20分前とし、第2試合目からは予定開始時刻40分前とする。時間までに提出がない場合は競技役員の判断により棄権扱いに出来る。
- 第 10 項 選手は試合開始40分前にはいつコールされてもよいように準備しておく。コール後5分程度経過しても集合しない場合は棄権とする。対戦相手は不戦勝とする。
- 第 11 項 オープンゲームについては、必ず運営責任者に申し出るものとする。但し進行状況によっては許可しない場合もある。
- 第 12 項 傷害については応急の救護を行うがその後の責任は負わない。
- 第 13 項 各チームは各自のプラカードを所持し、試合中には常に本部席より確認できるコートのそばに置く事。
 (新規作成規格サイズ60cm×30cm以上 横置き)
 (プラカード貸出しの場合は別途1,000円)
- 第 14 項 欠場チームがあった場合のリーグ構成の調整の仕方は前年度の成績の順位によって順次下位チームより繰り上げる。なお新チームの補充の際にリーグ構成が著しく違和感を生じる場合は例外とし、実行委員会で検討する。
- 第 15 項 審判について
 ・ラインジャッジの位置を正確に、担当ラインを確認させる。(P 37参照)
 ・主審ができる条件として、講習会受講者及び公認審判資格者とする。